

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月4日 (2019.4.4)

【公表番号】特表2018-510147(P2018-510147A)

【公表日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2018-014

【出願番号】特願2017-546200(P2017-546200)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 16/28 Z N A

C 0 7 K 16/46

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 11/00

A 6 1 K 39/395 N

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月25日 (2019.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 / 配列番号 28 (C 4 7 A 8 - C L) の重鎖 / 軽鎖可変ドメイン配列を含む C D 4 7 エピトープに結合する I g G クラスの単離された完全ヒト抗 C D 4 7 抗体。

【請求項 2】

抗体が少なくとも  $1 \times 10^{-6}$  M の  $K_D$  を有する、請求項 1 に記載の完全ヒト抗体。

【請求項 3】

抗 C D 4 7 完全ヒト抗体 F a b 断片であって、抗体が、配列番号 1 / 配列番号 28 の重鎖 / 軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗 C D 4 7 完全ヒト抗体 F a b 断片。

【請求項 4】

抗体が少なくとも  $1 \times 10^{-6}$  M の  $K_D$  を有する、請求項 3 に記載の完全ヒト抗体 F a b 断片。

## 【請求項 5】

配列番号 1 / 配列番号 28 の重鎖 / 軽鎖可変ドメイン配列を含む、ペプチドリンカーによって連結された重鎖可変ドメインおよび軽鎖可変ドメインを含む抗 C D 4 7 一本鎖完全ヒト抗体。

## 【請求項 6】

抗体が少なくとも  $1 \times 10^{-6}$  M の  $K_D$  を有する、請求項 5 に記載の完全ヒト一本鎖抗体。

## 【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の有効量の抗体、抗体 F a b 断片、または一本鎖完全ヒト抗体を含み、それによりがんまたは線維性疾患が治療される、がんまたは線維性疾患を治療するための医薬。

## 【請求項 8】

がんが、卵巣がん、結腸がん、乳がん、肺がん、骨髄腫、神経芽球由来の C N S 腫瘍、単球性白血病、B 細胞由来の白血病、T 細胞由来の白血病、B 細胞由来のリンパ腫、T 細胞由来のリンパ腫、および肥満細胞由来の腫瘍からなる群から選択される、請求項 7 に記載の医薬。

## 【請求項 9】

線維性疾患が、心筋梗塞、狭心症、変形性関節症、肺線維症、喘息、嚢胞性線維症、気管支炎および喘息からなる群から選択される、請求項 7 に記載の医薬。

## 【請求項 10】

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の抗 C D 1 3 7 抗体、抗体 F a b 断片、または一本鎖完全ヒト抗体、および医薬として許容される担体を含む医薬組成物。